

12月は 地球温暖化防止月間

Q:なぜ12月が地球温暖化防止月間か?

A:平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を契機として、翌年の平成10年度から12月を「地球温暖化防止月間」と定め、国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業を始めとする様々な取組を行うことにより、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図ることとしました。

自己紹介

カトウ シュンイチ

加藤 俊一

1942生まれ

**「地球温暖化を伝えるひと・
省エネ行動を実践するひと」**

—加藤家のCO2排出量:4035kg (2013)—

- 大分県地球温暖化活動防止推進員
- IPCC(アイ・ピー・シー・シー)コミュニケーター
- うちエコ診断士
- 地球温暖化対策おおいた市民会議委員
など

IPCC第5次評価報告書

第4次IPCC総会：2007 フランス ベルギー タイ

第5次IPCC総会：2013～2014 スウェーデン 日本 ドイツ

◆IPCC第4次評価報告書からの主な数値変化

	<第4次>	<第5次>
> 温暖化は、人為的原因である可能性	90% (非常に高い)	95% (極めて高い)
	※99%	ほぼ確実
今世紀末(2100)の世界の気温	1.1°C～6.4°C	2.6°C～4.8°C
今世紀末(2100)の海面高さ	18cm～59cm	26cm～82cm

「2°Cターゲット」

地球の気温を2°C未満に抑える世界的に
合意された目標

- ①産業革命頃(1880年)から排出されたCO₂の累積量を3兆トン以内にしなければならない。
- ②2010年現在、既に1.9兆トンを排出している。
- ③残された排出量は、1.1兆トン。
- ④残された時間は、 $1.1 \text{兆トン} \div 370 \text{億トン(年間排出量)} = \text{約30年後}$ の2040年には、2°Cに到達。
ちなみに、今、いきなり排出量を半分にできたら60年後に2°Cに到達。

世界の科学者800名の英知を結集したIPCCは、
2050年までに、CO₂を中心とした温室効果ガスを2010年対比で
40~70%減らし、2100年にはゼロにする必要があると発表。
来年3月には、各国は削減目標を公表することになっている。

地球温暖化防止へのメッセージ

- ◇地球温暖化に関心をもって欲しい。
新聞、テレビでIPCC(アイ・ピー・シー・シー)とかCOP(コップ)とかが報道されたら、ニュースを見て、聞いてほしい。
- ◇家庭、学校、その他いろいろな場所で、「CO₂を減らす」行動をしてほしい。地球環境家族になってほしい。我が家の二酸化炭素排出量など数値を知ってほしい。
- ◇はやぶさ2号、ノーベル物理学賞の青色LEDなど、日本の技術はすごい。「地球温暖化を防ぐ」未来のサイエンスに挑戦してください。